



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

環境への負荷を軽減するエコな掃除のポイント  
は石けん、重曹、酢の使いこなし。汚れの種類を知り、組み合わせることで無駄がないという。大掃除の季節の前に、ポイントを整理した。

まず汚れが酸性かアルカリ性かを判断する。酸性の汚れには油污れ、手あか、湯あか、生ごみの臭い、腐敗臭、ビール、日本酒がある。この汚れに有効なのがアルカリ性の石けんだ。汚れがひどい場合には、石けんをぬるま湯で溶いてペースト状にするか、石けんを溶

## 「石けん」「重曹」「酢」でエコ掃除



換気扇の汚れは石けんでも落ちる

かした容器に漬けてからブラシでこする。換気扇の汚れも簡単に落ちる。アルカリ性の汚れに

### 汚れに合わせ順番に

は石けんかす、尿、汗、雑菌、水あか、鍋の黒ずみ、タバコのヤニなどがある。この汚れには酸性の「酢」が有効だ。酢1に対して水2の割合で薄めた酢水をスプレー型容器に入れて吹き付ける。二度ぶきするとさらにさっぱりとする。

汚れの種類が分からない場合は、石けんかす、尿、汗、雑菌、水あか、鍋の黒ずみ、タバコのヤニなどがある。この汚れには酸性の「酢」が有効だ。酢1に対して水2の割合で薄めた酢水をスプレー型容器に入れて吹き付ける。二度ぶきするとさらにさっぱりとする。

最後は酢で仕上げる。石けんかすなどのアルカリ性の汚れを落とすとして中和の代わりに、レモンの切端やクエン酸でもよい。

エコ掃除について、記事から（ ）に言葉を書きましょう。

#### ① 酸性の汚れ

例（油污れ、

使うもの

（ ）性の（ ）

#### ② アルカリ性の汚れ

例（石けんかす、

使うもの

（ ）性の（ ）

#### ③ 種類がわからない汚れ

1. 汚れを浮かせる（ ）
2. こすり落とす（ ）
3. 中和しスッキリする（ ）

2012年11月27日夕刊 家庭

年 組 名前

(小学校6年生 理科)